

第 9 1 7 回

定例教育委員会会議録

日 時 令和 5 年 8 月 3 0 日（水） 1 5 : 0 0 ～

場 所 益田市立保健センター 大ホール

益田市教育委員会

第917回 教育委員会定例会

招集年月日 令和5年8月30日（水）15：00～

招集場所 益田市立保健センター 大ホール

議事日程

第1 会議録の承認について

第2 教育長報告

第3 議題

議第15号 益田市立市民学習センター設置及び管理に関する条例施行規則の一部
を改正する規則の制定について

報第22号 「夏休み！算数・数学パワーアップ教室」の開催について

第4 その他

（1）その他

出席者

教育委員会

教 育 長	高 市 和 則
教 育 委 員	梅 津 富美子
教 育 委 員	大 庭 隆 志
教 育 委 員	齋 藤 哲 瑯
教 育 委 員	原 田 笑

事務局職員

教 育 部 長	長 嶺 勝 良
教 育 総 務 課 長	志 田 原 渉
学 校 教 育 課 長	田 原 正 紀
協働のひとづくり推進課長	岡 崎 健 次
文 化 財 課 長	石 田 公
学 校 教 育 課 参 事	杉 原 貴 宏
匹 見 分 室 長	齋 藤 一 臣
美 都 分 室 長	田 中 一 史
教 育 総 務 課 長 補 佐	齋 藤 勝 義
教 育 総 務 課 主 事	三 浦 菜々子

高市教育長 ただいまより第917回益田市教育委員会定例会を開催いたします。
それでは、議事に入らせていただきます。

第1 会議録の承認

高市教育長 会議録の承認につきましては、先ほどご承認いただきました。

第2 教育長報告

高市教育長 次に進みまして、第2の教育長報告でございます。前回の教育委員会からの活動状況です。

まず、7月29日でございます。こちら、真砂にあります益田市立地域活性化交流館竣工式を開催いたしました。こちらにつきましては、教育委員の皆様にもご出席をいただきまして、非常に盛大に、にぎやかに式が行われたというところでございます。

こちらには学校、保育園、あと診療所が入っております。学校につきましては、今年の1月から使用をしておりましたが、その後、保育所と診療所も入り、全体的にうまく回り出したということもあり、竣工式をさせていただいたところでございます。

続きまして、7月31日でございます。午前ですけれども、「夏休み！算数・数学パワーアップ教室」の開校式がございました。こちらにつきましては、後ほど担当から詳しく報告をさせていただきますけれども、今回は島根大学の学生さんが14名、あとは小学生が延べ65名、中学生は44名の参加がありました。通常ですと、島根高専の学生さんも来ていただいておりますが、今回、学校の日程等の関係で参加は島根大学の学生さんだけでした。半数以上がたしか過去にも参加をしてくれている学生さんが今回も来てくれたということで、子どもたちも見知った顔というのもありまして、非常に子どもたちも一生懸命頑張っていたと聞いております。

あとは、子どもたちも今回、今までで最高的人数ということで、大体小学校で講師役の大学生、学生さん1人に小学生が2人つくような形だったのですが、今回1人に小学生4人ぐらいということで、また少し状況が変わってきています。新たなやり方、また学生の拡大というのでしょうか、そういったことも今後考えていきたいと思っています。

続きまして、その後ですけれども、川崎市のふれあいサマーキャンプ歓迎式を行いました。こちら、川崎市と益田市の交流というこ

とをよくやっているということで、今回は川崎の小学生と中学生がサマーキャンプということで、確か益田を含めて3か所の中で益田市を選んでくれた子どもたちが来てくれたということで、その歓迎をしました。

具体的には、匹見で川遊びをしたりとか、あと持石海岸で遊んだりということでした。たしか3泊4日で益田を味わっていただいたということです。

あとは、その後、午後ですけれども、令和5年度の3回目の教科用図書、益田の採択地区協議会を開催したところでございます。

続きまして、8月7日と16日でございますけれども、こちら、国の水産庁のほうが関係をしているものですが、川づくりの標語コンクールということで、市内の吉田小学校の子が長官賞を受賞いたしました。日程は2日にわたりましたが、受賞した3名の児童が報告に来てくれたというところでございます。受賞した標語は、市役所のほうののぼりで掲示させていただいております。

続きまして、8月17日でございます。こちら、益田市人権同和研究研修会を開催いたしました。

続きまして、8月22日でございます。こちら、第60回島根県特別支援教育振興大会並びに令和5年度島根県特別支援教育PTA研修大会ということで、一般的には特振会と言われている会合のようですけれども、特別支援の関係者や保護者、場合によっては当事者が集まって研修、協議をする会というところです。そちらのほうに出席をし、県内の特別支援教育、特に通常学校の特別支援学級のことについての会に参加をしてきたところでございます。

続きまして、8月25日でございます。こちら、臨時の教育委員会を開催いたしました。内容といたしましては、教科書採択についてご審議をいただいたというところでございます。

続きまして、8月26日、27日、この2日間にわたって、柿本人麿没後1300年祭ということで行事がいろいろと開催をされたところでございます。

26日につきましては、原田委員に会場で司会をしていただいたというところでございます。また、齋藤委員にはいろいろとご協力をいただいたというところで、感謝を申し上げる次第でございます。こちら、市内外から非常に多くの方が来場されたということで、かなり盛り上がった大会になったのではないかと考えております。

続きまして、8月28日でございますけれども、益田小学校に1日学校訪問をしてきました。夏休み明け数日たったという状況でしたけれど、子どもたち、暑期中、一生懸命学校に来ていたという状

況で、比較的落ち着いた形で子どもたちも学習できているというところを確認したところでございます。

私のスケジュールとしては以上でございます。

続きまして、ご寄附、ご寄贈等をいただいたことのご紹介をさせていただきます。

市内の方ですけれども、お亡くなりになりました椿道子様から奨学金の基金に対しましてご寄附をいただきましたので、ここでご紹介をして、厚く御礼を申し上げたいというふうに思っております。

私からの報告は以上でございます。

それでは、この件についてよろしいでしょうか。

教育委員

＝全員了承＝

第 3 議題

○議第 15 号 益田市立市民学習センター設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について

高市教育長

本日は、1 件の審議事項と 1 件の報告案件がございます。

まず初めに議第 15 号益田市立市民学習センター設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定についてから進めさせていただきます。

それでは、事務局から説明をお願いいたします。

岡崎課長

こちらにつきましては、消費税のインボイス制度に対応するために、請求書等の消費税の適用税率や消費税の税額、適格請求書の発行用紙の登録番号等を記載することを求められていることから、それに対応するための必要な規則の改正を行うものであります。

次のページに改正の分を載せておりますが、基本的には様式変更となりますので、その次のページを見ていただくと、学習センターの使用承認（変更）申請書とありますが、こちらの用紙の半分から下のほうに領収書（控）というところがありますけれども、こちらに主に対象税率や消費税額等を載せております。右下のところに益田市の登録番号を記載するようになりますので、こちらのよう様式を変更し、規則改正をするものでございます。

その次のページが承認書、これ、複写になっておりますが、同じように領収書部分のところについて表示を変更しているところでございます。

内容については以上です。

高市教育長

ありがとうございました。

そうしましたら、本件、採決に移りたいと思います。それでは、

この件について承認いただけます方は挙手をお願いします。

教育委員
高市教育長

=全員挙手=

挙手全員ということで、承認されました。つきましては、事務局におかれましては必要な手続等を進めていただくようお願いいたします。

○報第22号 「夏休み！算数・数学パワーアップ教室」の開催について

高市教育長

では、ここからは報告の案件となります。

続きまして報第22号「夏休み！算数・数学パワーアップ教室」の開催についてです。

それでは、事務局から説明をお願いいたします。

杉原参事

では、先ほど教育長からもありましたが、夏季休業中に「夏休み！算数・数学パワーアップ教室」というのを行いましたので、その報告をさせていただきます。

実施期日は、7月31日から8月4日までの5日間。場所は、最初の3日間を市民学習センターで、終わりの2日間を、今まで開催していない地区の鎌手地区と小野地区で、鎌手公民館、小野中学校をそれぞれ会場に2日間開催いたしました。

参加者のところは、島根大学の学生が14名、うち10名がリピーターということでした。それから、小・中学生ですが、申込者数がこのとおりになっております。小学生が65名、中学生が44名でございました。会場別の延べ人数は、このとおりになっております。

開催内容については、次のページのところをまた見ていただければ分かるかなと思います。

戻っていただいて、終わったところで小・中学生、大学生、それぞれにアンケートを取っております。肯定的評価の割合を載せております。軒並み9割以上の評価をいただいていて、小・中学生、大学生、それぞれが満足のいくものであったと思っておりますが、ただ、小学生のほうで、参加する前よりも算数、数学が好きになったが89%、難しい問題にもチャレンジしたい気持ちが参加する前よりも強くなった。これも89%、90%と高いパーセンテージではありますが、これを今度冬休みに行いますときに、少しちょっと改善をして、この数値が伸びるようにしてみようと思っております。

それから、大学生や大学に対する憧れが強くなったも9割前後という数字になっております。大学生が指導に入ったりするところの指導方法等を大学生と相談しながら、改善を努めてまいりたいと思

っております。

以上です。

高市教育長

ありがとうございます。

では、本件につきまして、何かご質問、コメント等ございましたら、お願いをいたします。

大庭委員

アンケートを採った結果ですけども、先ほどご指摘がありましたけども、89%ということですけども、要するに、これは小学生61名に対して6名がちょっとネガティブな答えを出したということだと思いますが、この数字は89じゃなくて、90にそろえたらどうでしょうか。2項目めと3項目めは90%と書いてあり、最後の項目のところは、ちゃんと90%になっています。多分これもネガティブな答えが6名あったのではないかと思いますので、揃えていただきたいと思います。

それから、5項目め、同じ企画があれば、また参加したいに対して、多分ネガティブな回答が2名だったと思います。ですから、これは59割る61で96.7%になりますから、四捨五入して97%になると思うので、訂正をお願いしたいと思います。

それで、少し疑問があるのですが、最初の質問、小学生、算数・数学パワーアップ教室に参加してよかったと思う。これは、100%ですけども、ところが、5項目めの同じ企画があればまた参加したい、これは97%で2名ほどがネガティブな回答をしているので、何となくこれ、矛盾するなということがありました。子どもですから、多分気まぐれもあると思いますが、本来ならば、多分最初が100%ならば、5項目めの同じ企画があれば、また参加したい、これも多分100%になるのが本来の筋から行くと、そうなるのではないかと考えております。

それから、大学生のほうは全て100%ということで、これは何かまた来年に向けての明るい、次回に向けての明るい展望が感じられる、そういう結果でよかったと考えております。

それから、最後の質問ですけども、次の資料の市民学習センターの会場と、それから小野、鎌手会場のスケジュールが出ていますけども、黄色とオレンジと、それから薄緑は分かるのですが、小野、鎌手の会場の緑がありますね。これは、市民学習センターの会場にはないのですけども、具体的にはどのようなことをされたのでしょうか。活動振り返りとありますけども、どのような活動をされたのか、説明をお願いしたいと思います。

以上です。

杉原参事

数値については、また訂正をさせていただきます。ありがとうございます。

ざいます。

活動内容についてですが、濃い緑の最終日の活動の振り返りに関しては、小・中学生はそれまでの午前中のところで、まとめというところで振り返りをしております、ここの濃い緑のところは大学生と市教委のほうでこの活動の振り返りをさせていただいたということで、少し色を変えて表示をしております。

大庭委員 子どもじゃなくて、これは大学生と市教委さんの振り返りですね。分かりました。ありがとうございます。

梅津委員 このたびは鎌手と小野と、今まで実施していなかったところを来てくださって、とてもよかったと思っています。

大学生のアンケートで、益田市への興味や関心が高まった。みんな100%ですけど、特に興味深いのは、益田市へのというところですが、先々益田に来てくださって、活躍してくださることを願い、また期待が持てそうだなと、そんな予感を感じます。ありがとうございました。

高市教育長 あれ、今回は、たしか大学生が小野地区に行って、何か行っていましたよね。

杉原参事 8月3日に連携のまちづくりさんのほうと協働いたしまして、小野地区で、このパワーアップ教室が終わった後に、小野公民館を会場に小野地区の地区民の皆さんと食事をしながら話をするという会を設けておりました。その翌日の8月4日、大学生、今まで結構最初のほうはあまり大きな挨拶がなかったのですが、8月4日に会場に来たとき、すごい大きな声で挨拶をして。それが8月3日の会がとても楽しかったという大学生がおりましたし、大学生の中には益田の人が大好きですという女の子もおりまして、今後こちらに定住してくれればなと期待しているところでございます。

高市教育長 ありがとうございます。

毎回、せっかく大学生とか高専の学生さんがこれだけの数、市に一気に集まってもらえるという機会はそうそうないので、市役所の中のほかの部署にも声をかけて、なるべく市のよさを知ってもらおうというのでもいい機会だろうということで、毎回、どこかでイベントをやっていますよね。

杉原参事 昨年度は、夏が匹見、春が二川で地域の人と交流する機会を設けました。

高市教育長 いろいろ地域の方々と交流できる機会をなるべく設けるような形で、それも楽しみに学生さんも来てくれればいいと思っていますので、引き続きそういったところを工夫しながら、やっていきたいと思っています。

齋藤委員
杉原参事

調査項目はこれ以外、どんなのを取っているのですか。

あと、小学生、中学生には、11月に県が行います数オリンピックというものに参加しますかみたいな項目が一つあります。

齋藤委員

先ほど大庭委員から質問があったように、これを例えば横にクロス集計してみて、何か比較ができるものがあるのかどうか気になりました。例えば2項目の子どもたちの参加する前よりも数学が好きになったという、この子どもたちが、4番目にある算数、数学の問題を解くことが楽しかったというのと、クロス集計をしてみるとどういう結果が出てくるか面白いですね。

それから、大学生が子どもたちと接触しているわけですが、同じ子どもたちに同じ大学生がこの期間中ずっとついているのでしょうか。それから、子どもたちが毎回参加しているのかどうかも気になります。相手によって教え方の問題もあるし、人格の問題も出てくるかもしれません。そこいらが分からないと次回に向けて参考になるような、要因を追求しといたほうがいいのかなのというのが2点目ですね。

3点目は、大学生にも調査を行って何が難しかったか、何がよかったか、どうすればよかったか、次にどういうふうに参考にしたいのかというようなことも少し突っ込んでいく必要があるのではないのでしょうか。

それから、益田がよかったと言ってくれている大学生は、益田の何がよかったのか、益田にこれからも来てくれるのかどうかなど。この学生たちが全員教員になるかどうかはまだ分かりませんが、そこいらも知っておく必要があるように思います。

杉原参事

今回、記述式の部分もありまして、今、手元にちょっと、資料がなくて正確なことは言えませんが、今後アンケートの取り方については、考察を入れて、冬休みは工夫をして取り組んでみたいと思います。

それから、クロス集計に関しては、数値的に少ないですけども試みて、冬休みは提示できればと思っております。

齋藤委員

これは、教育委員会の担当者がずっとついているわけですね。教育委員会の職員は何を感じているのか、例えば前回と比べてどうだったとか、などについても知りたいですね。

杉原参事

それでは、冬休み、再度パワーアップ教室もございますので、こちらに生かしていこうと思います。

原田委員

齋藤委員さんと重なるところがあるのですけれども、ここまで数年間続けてこられて、参加人数が伸びているということは、すごく皆さんに喜ばれている画期的な取組だなと感じるのですけれども、

今後、始めた年からデータ等を比較できるものがありますと、大変ありがたいと思います。ここまで何年か続けてきた中で、もうそろそろ次のステップに進んでもいいのではないかと思います。アンケートについても、数学が好きになったかどうかで89%に対してのイエスじゃなくて、ノーだった人に対して、理由を聞くような設問をつくっていただきたいです。イエスだった人に対しては、それがどうしてだったのかというのを聞いていただきたいですし、最終的な目標が学力向上なのであれば、最後にフィードバックの時間として、一体ここで何を学んで、何を得たのか、この学習、今後に向けてどうつなげたいのかというところまで子どもたちに言語化させて終わるようにされたらどうかと思います。より具体的に子どもたちが消化して、次のステップに進めるような流れというのをつくっていただきたいと思いますし、大学生に関しても、このアンケート内容に加えて、島大の学生さんはボランティア活動にも積極的に参加されていて、様々な子どもたちと携わっていると伺っていますので、例えば松江市の子どもたちと比べて益田の子どもたちの印象はどうか、どういうところに課題を抱えているのかというような具体的なことまで伺うことができたらいいと思います。

最後の深緑のところの振り返りで、学生さんたちからどんな意見が出たのかというところまで、もしできるのなら、私たちもぜひ教えていただきたいと思います。

以上です。

杉原参事

先ほどもありますアンケート項目とか、記述方式は工夫を入れていきたいと思っています。

最後に、活動の振り返りに関しては、今回、14名参加した学生全員がまた冬休みに来たいと言ってくれています。すごく子どもと触れ合うのも楽しかったし、この地区との交流も楽しかったということ言ってくれていますし、その5日間継続して子どもたちに触れ合うので、自分がどうやって教えていいかという教え方みたいなものを少しずつ分かってきたという意見もたくさん聞かれました。また、こういったところに反映できるように工夫をしていきたいと思っています。ありがとうございます。

大庭委員

鎌手公民館、それから小野中学校と、会場が2か所ありますけども、延べの人数はありますが、実際のところ、鎌手公民館のほうでは、例えば小学生、中学生、鎌手の地区外の子どものかというのは、参加状況はどうだったのでしょうか。あるいは小野のほうも教えていただきたいです。

杉原参事

鎌手公民館のほうは、大半は鎌手地区のお子さんが多かったです

けれども、東陽中学校区でございます安田地区の子どもが小学生で3名、中学生で5名、それから小野中学校のほうは、やっぱり戸田、小野中の児童・生徒が多かったですけども、中西小の児童が2名、参加をいたしました。あと高津小の子が1名、小野中学校のほうに参加しています。

以上です。

高市教育長

はい、ありがとうございました。

そういえば、先ほど齋藤委員からご質問がありましたけど、個人学習の時間のときのペアというのは、もう固定ですか。それとも、毎日入れ替えていましたか。

杉原参事

連続して来るお子さんもおられれば、1日だけの参加のお子さんもおられるので、基本的には毎日、毎日違った学生が関わるという形にしております。

齋藤委員

そうすると、日にちがまず短いということもあるし、それから人間関係、ヒューマン・リレーションの時間的な問題もあると思います。つまり、1日参加した者と3日間、4日間参加した者とを、同じようにして集計して全体でこうですと言うのは少し乱暴だと思います。

時間的に1時間、2時間ぐらいしか参加しないという子どももいるのでしょうか。

杉原参事

基本的には、体調が悪くなったお子さん以外は、一日参加しています。

齋藤委員

そうすると、やっぱり調査項目を少し整理して、何日参加したとか、それから性別もやっぱりこれはベーシックだから取っておいたほうがいいです。それから、学年についても調べておいて後に残していくようなデータの取り方をしたいと思っています。中学校3年生と中学2年生が抱える問題は違うかもしれませんが。それから、初めて参加した学生と何回も来ている学生との違いはあるのかなどのかなど、そこもデータの的には取っておいたほうがいいと思います。

高市教育長

ありがとうございます。

それでは、この件についてよろしいでしょうか。

教育委員

＝全員了承＝

高市教育長

それでは、以上をもちまして定例会を終わります。

次回は9月26日に定例教育委員会を開催いたします。よろしくお願いいたします。それでは以上で定例教育委員会を終了いたします。ありがとうございました。

＝終了時間 16時00分＝